

夏休み 科学教室 2009

去る8月4日(火)・5日(水)、恒例の「夏休み科学教室」が開催されました。両日合わせて133名の方にお越しいただき大盛況のうちに終了いたしました。夏休みの楽しい思い出になっていることを願います。

銀座のネオンと蛍の光

東京大学物性研究所 秋山 英文 准教授



身の回りにはたくさんの光る物質があります。ネオンの光や蛍の光もそのひとつ。発光する理由は物質によって様々です。発光しているものは電気を通したり燃やしたりして熱をもっているイメージがありますが…そうでなくても光る物質がある！その不思議に迫りました。

さまざまな光る物質の登場に、参加している子どもたちだけでなく大人たちも実験にくぎづけでした。なかでも、「ウミホタル」の実験では、ひとりひとりにウミホタルが手渡され、部屋を暗くし刺激を与えると、とてもきれいな青い光を放ち始めました。この美しさと面白さに会場全体が夢中になりました。2日目の最後は、みんなで記念写真！下のように面白い写真が撮れました。



科学で遊ぼう

TTPスタッフによる
科学実験



目に見えないものを信じますか？

松江技術事務所 松江 登久 代表

目には見えないけれど、普段からみんなが体に浴びたり、通り抜けているものがあります。夏だからといって怖いお話をしているわけではありません。とても不思議な「宇宙線」のお話です。この目に見えない「宇宙線」を観察するのが、松江先生の授業でした。

まずは、宇宙線に出会うための「霧箱」づくり。箱の中に霧を発生させ、部屋を暗くした後、霧箱に懐中電灯で光を当てると、通り過ぎていく宇宙線が見えるのです！一瞬で通り過ぎるそれを確認できたテーブルからは、「見えた！」「すごい、おもしろい！」と歓声が上がりました。針金で試料を巻いたものを霧箱の中に入れて、さらにはっきりと宇宙線が見え、すっかり宇宙線に夢中になったみんなは、部屋に電気が灯ると名残惜しそうに霧箱を見つめていました。

